



あなたに けんきを あくるまじ



上尾市

主な内容

市長の提案説明	2~4ページ
議長・副議長就任あいさつ	3ページ
委員会の主な審査内容、討論	4~7ページ
提出議案とその結果	8ページ
市政に対する一般質問	9~15ページ
今議会で決まった人事	9ページ
委員会活動、意見書	16ページ

議会 だより



見て見て！上手でしょ。(市内幼稚園のお遊戯会にて)

平成24年12月定例会日程

- 12月3日 …… 開会、議案の上程、提出議案の説明
- 12月5日 …… 提出議案に対する質疑、委員会付託
- 12月6日 …… 総務・建設水道消防常任委員会
- 12月7日 …… 文教経済・福祉常任委員会
- 12月11日 …… 一般質問
- 12月12日 …… 一般質問
- 12月13日 …… 一般質問
- 12月14日 …… 一般質問
- 12月20日 …… 委員長報告、討論、採決、正副議長選挙、上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員の選挙、議員提出議案・委員会提出議案の上程、採決、閉会

第162号

平成25年(2013)
2月号

発行/上尾市議会
編集/議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話048-775-9467



12 月定例会最終日の議長選挙の様子

市長の提案説明から

12 月定例会で審議した議案は、市長提出議案および諮問が 21 件、議員提出議案 2 件、委員会提出議案 2 件の計 25 件で、うち 24 件を可決・承認・異議なき旨答申し、1 件を否決しました。また 9 月定例会で閉会中の継続審査として、決算特別委員会に付託した平成 23 年度各会計歳入歳出決算議案など 8 件についても原案のとおり認定・可決しました。

○上尾市一般会計補正予算

今回の補正予算は、当初予算編成後の状況の変化を踏まえ編成し、その結果、補正額は 2 億 7 436 万 3000 円、累計予算額は 5 億 8 億 4019 万 1000 円となった。

〈主な事業〉

総務費の「あびっと！管理運営事業」は、中心市街地のにぎわいを創出するべく情報発信および市民交流を目的としたにぎわい

創出拠点「あびっと！」を上尾中山道東側地区市街地再開発ビル「A-GEOTOWN」内の市所有スペースにオープンするための準備を行うものである。なおオープンは 4 月 30 日を予定している。

民生費の「こども医療費支給事業」、「衛生費」の「肝炎ウイルス検査事業」「骨粗しょう症検診事業」「各種がん検診事業」の各事業は、受診者数の変動による事業費の決算見込みを踏まえ、増額補正するものである。なお検診事業については、受診率アップを目指し、今年度から対象者約 16 万人に個別検診通知を発送したことにより、受診者が大幅に増加したと考えている。

土木費の「ふるさとの緑の景観地保全事業」は、県が決定している「緑のトラスト保全第 12 号地『原市の森』」について、地権者との協議が整ったことから、県と共同でその用地を取得するものである。

教育費の「市民体育館大規模改造(耐震補強)事業」は、来年度のリニューアルオープンに向けて、新たに入館管理システムを導入するほか、テニスコートなどの屋外施設の修繕を実施するものである。

このほか、電気使用料などの値

本市の発展と市民福祉の 推進のために



議長
矢部 勝巳



副議長
小林 守利

市民の皆様には、平素より市政並びに市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

私たちは、昨年12月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、正副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、公正かつ円滑な議会運営に最善の努力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、日本は世界に類を見ない早さで高齢社会を迎えており、年金や医療などの社会保障制度の改革は避けられず、長引く厳しい経済状況のもとで国債発行額は年々増え続け、財政再建も急務でございます。また、中央自動車道のトンネル崩落事故などに見られますように高度経済成長期に造られた公共インフラの老朽化が進み、その対応も求められております。

本市においても、財政が非常に厳しい状況の中、高齢者や障害者への医療と福祉、子育て支援、さらには防災や環境問題など、諸課題が山積しております。その上で、活力と魅力にあふれ、市民の誰もが安全で住みやすいまちづくりを進めていかなければなりません。

市議会といたしましても、市民の皆様にかかれた議会に向けて議会改革に取り組みつつ、本市の発展と市民福祉の増進のため議会活動に全力を尽くしてまいります。

今後とも、上尾市議会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさつといたします。

- 上げに伴う対応として、各費目にわたり公共施設の管理運営事業の光熱水費などを増額計上している。市では、さまざまな節電対策を継続実施してきたことにより、今年度上半期で電気使用量11・8%、料金に換算すると2400万円相当の節電を達成した。しかし、節電が困難な道路照明灯をはじめとする15事業については予算不足が見込まれることから、補正予算を計上するものである。
- 債務負担行為の補正については、**指定管理者制度に係る「上尾市民体育館管理運営業務」が主なもので、そのほか公共施設の維持・管理業務委託などを合わせた24の事項について、限度額等を定めるものである。
- 国民健康保険特別会計補正予算
特定健康診査の受診者数の増加に対応するものである。
- 公共下水道事業特別会計補正予算
平成23年度分の消費税額確定に伴い、その増額に対応するほか、ポンプ場運転管理業務の債務負担行為を設定するものである。
- 介護保険特別会計補正予算
国の介護保険認定システムの仕様変更されたことに伴い、システム改修を行うものである。
- 水道事業会計補正予算
一般会計の各事業同様、電気使用料の値上げに伴い見込まれる水道施設に係る光熱水費の予算不足に対応するものである。
- 条例その他
上尾市暴力団排除条例の制定については、市民生活の安全と平穩の確保および社会経済活動の健全な発展に寄与するため、暴力団排除活動の推進に関し、基本理念を定めるとともに、市、市民、事業者の責務を明らかにしたいので、提案する。
- 上尾市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定については、上尾市原新町土地区画整理事業の施行区域内において街区符号の変更を行うことに伴い、所要の改正を行う必要があるため提案する。
- 証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定については、地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正を行う必要があるため提案する。
- 上尾市工業住宅団地開発事業特別会計条例を廃止する条例の制定については、工業住宅団地開発事業に係る歳入歳出を、一般会計において経理することとしたので

提案する。

上尾市民体育館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定については、上尾市民体育館の施設で、開館時間前に準備作業などを行う場合の利用料金を徴収するものとし、体力相談室兼トレーニング室の料金区分を変更したいので提案する。

上尾市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定については、児童福祉法の一部改正に伴い、所要の改正を行う必要があるので提案する。

上尾市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定については、介護保険法の一部改正に伴い、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する

する基準を定めたいので提案する。

上尾市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定については、介護保険法の一部改正に伴い、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営や指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定めたいので、提案する。

上尾市融資審査委員会条例を廃止する条例の制定については、中小企業融資制度に係る資金融資の責任共有制度が定着したことに伴い、融資の審査と決定の迅速化を図るため、上尾市融資審査委員会

を廃止したいので提案する。

損害賠償の額を定め、和解をすることについては、公用自動車による負傷事故の損害賠償の額を定め、和解をしたいので、定めるところにより提案する。

専決処分承認を求めるところについては、平成 24 年 11 月 16 日に、衆議院が解散されたことに伴い、緊急に総選挙の事務に要する費用を、補正予算で編成する必要が生じたため、同月 19 日に専決処分したので、定めるところにより提案する。

埼玉県市町村総合事務組合規約の変更については、白岡町の市制施行および蓮田市白岡町衛生組合の名称変更に伴い、埼玉県市町村総合事務組合規約を変更することについて協議したいので、定めるところにより提案する。

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道消防、福祉の各常任委員会は、付託された議案の審査および調査を行いました。

以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

補正予算 「あびっと」のオープン準備経費を計上

〈メモ〉上尾中山道東側地区の再開発ビル「A-1 G E O タウン」に市所有のスペース「あびっと」を活用して「情報発信事業」「交流事業」を展開するための経費を計上。商工業・観光・趣味その他、生活の多岐にわたる分野で「交流」の場を提供する。

委員 床面積が約 51m²で、用途については、民間事業者からの提案によるとのことだが、他の企画や提案はあったのか市の具体的な検討について伺いたい。

答 市民ギャラリー、観光物産館のような活用、授産施設の製品販売などの提案があった。それらの提案を検討したところ、第 5 次総合計画において、駅周辺地区にぎわいの交流拠点と位置付けていることから「にぎわいの創出拠点」として活用することに決定した。

委員 「あびっと」の運営は、民間への委託か、市の直営か、協働とするのか伺いたい。

答 「あびっと」は、民間の

普通救命講習会に参加

平成 24 年 10 月 23 日、市議会議員を対象に、上尾市消防本部で普通救命講習会が開催されました。これは、人の命を守るために応急手当の知識や技術を習得したいと議員から提案されたものです。講習会では、心肺蘇生法や AED の使い方などを学びました。



普通救命講習会の様子

提案を生かした形で運用を予定しており、その手法をとり入れて「にぎわい」につながる企画を公募し、選定委員会で決定したところである。その団体には、平成25年度に、運営のための補助金を支出する予定である。

委員 補助金の額を伺いたい。
答 補助金の額は、公募要項上、補助対象経費の4分の3、または上限600万円のどちらか低い金額となる。



4月にオープン予定の「あぴっと！」

福祉常任委員会

条例制定
介護保険法の一部改正に伴う条例の制定

〈メモ〉 介護保険法の一部改正

に伴い、上尾市指定地域密着型サービス事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例を制定。

委員 地域密着型サービスと通常のサービスとの違いについて伺いたい。

答 地域密着型サービスは、指導、監督の全てを市が実施するものであり、高齢者が住み慣れた上尾で介護サービスが使えるという点に特徴がある。

委員 夜間対応型や定期巡回・随時対応型の利用が増えない理由について伺いたい。

答 夜間対応型の利用については、利用者が事業者に鍵を預けることを心配していることや、これらのサービスを必要とする高齢者は、病院、施設等で生活しているのが現状であることから利用が伸びていないと考える。しかし、高齢者の増加と医療改革のなかで、高齢者の方々に住み慣れた地域で過ごしていただきたいとの考えからサービスが開始されたと認識している。

条例制定
上尾市暴力団排除条例を制定

〈メモ〉 暴力団排除活動の推進

に關し、基本理念を定め、市と市民および事業者の責務を明らかにするため条例を制定。

委員 暴力団員による不当な行為の防止を目的とする団体とはどのような団体なのか。また暴力排除活動に関する具体的な施策について伺いたい。

答 団体については、全国の都道府県に暴力追放センターが設置されている。市には、上尾地区暴力排除推進協議会が結成され、暴力排除活動に携わっている。具体的な施策については、犯罪抑止のための情報提供や広報活動が中心である。

建設水道消防常任委員会

その他
市道路線の認定と廃止

〈メモ〉 平方歩道橋交差点整備事業の実施に伴う県道路線の再編成により、県から引継ぎを受ける旧県道部分を市道として認定し、県に引継ぎをする市道路線を廃止するもの。

委員 市は、県道と市道を付け替えることで、どのようなメリットがあるのか。

答 右折帯の設置など交差点改

良において県が主体で事業をすることになるため、経費の軽減を図ることができる。

その他
上尾中山道東側地区再開発事業を現地調査

建設水道消防常任委員会では、議案審査の前に、上尾中山道東側地区第一種市街地再開発事業についての現地調査を行い、商業床、公共床など再開発ビルの現状を確認した。



建設水道消防常任委員会の現地調査の様子

文教経済常任委員会

指定管理
市民体育館の指定管理者が決定

〈メモ〉 市民体育館の指定管理

者を公募した結果、上尾市地域振興公社を指定するもの。指定期間は平成25年度から5年間。

委員 指定管理者に地域振興公社が選ばれた理由について伺いたい。

答 地域振興公社が選ばれた理由には、①地域に密着しており、雇用では地元からの採用を予定し、委託業務については市内業者の活用を提案している②市民体育館は震災時に避難所となるが、市内在住の職員が多く早い対応ができる③市内のスポーツ、レクリエーション団体と連携がとれている④公益法人で営利目的ではないため、教室などの参加費は必要経費のみで提案されている⑤隣接するゆりが丘公園と一体管理ができる⑥地域の方々と連携しながら事業展開ができる一などが挙げられた。

委員 選定委員会やスポーツ推進審議会ではどのような要望事項があったか伺いたい。

答 選定委員会からは、午前9時の開館時間前からの利用や利用者声を把握することなど要望があった。なお今回の条例改正で大会などの準備については開館1時間前からの利用を可能としている。スポーツ推進審議会では、市民

サービス向上のための取り組みや、利用する機会の多い市内スポーツ、レクリエーション団体の利用について考慮してほしいことなどの要望があった。

補正予算 市民体育館のテニスコート、弓道場を改修

〔メモ〕市民体育館大規模改造（耐震補強）事業で、テニスコート、弓道場の改修工事を行うもの。

委員 テニスコート、弓道場の改修内容について伺いたい。

答 テニスコートについては、クレーコートのラインテープの張り替え、土の転圧、ハードコートの表層の塗り直しを考えている。また弓道場については、防矢ネットの張り替えと安全対策として新設の防矢ネットの設置を予定している。

市長提出議案に 対する反対討論

要旨

平成24年度上尾市一般会計補正予算について、こども医療費の医療費支給事業は、本来、市が受け取ることができると認められるので、取れない状況であるので、反対する。

上尾市民体育館条例の一部を改

正する条例の一部を改正する条例の制定について、指定管理者を指定することや、トレーニング室利用料を250円に値上げしたままであることから反対する。

公の施設の指定管理者の指定について、継続的利用の利便性や地元の雇用など市民要望に応えるため、地域振興公社に決定したとのことであるが、市民にとって、利用しやすいスポーツ施設を管理・運営するのであれば、市直営のままで何の支障もない。また上尾市民体育館を防災拠点として位置付け、災害対策本部を設置するならば、市直営とするほうがよく、指定管理者に指定する合理的理由がないため反対する。

上尾市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定についてと上尾市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定については、具体的なサービスなどさらに事業の検討が必要と考えることから、この2つの議案に反対する。

上尾市融資審査委員会条例を

廃止する条例の制定について、2007年の責任共有制度導入や、リーマンショック以後の長引く不況により、中小業者の営業は大変厳しい。市の制度融資が、地域の中小業者の資金繰りを支え、廃業・倒産を食い止めることは、地域の雇用を守り、経済が循環し、市の税収にプラスの効果が生まれることにもつながる。単に審査委員会を廃止するのではなく、中小業者の営業を守る立場で審査会の機能を持たせることが必要であると考えるため、反対する。

市内事業者が厳しい経営環境にある中、制度を廃止することに反対する。

決算審査

平成23年度決算議案など8件を認定・可決

決算特別委員会では、平成24年9月定例会で閉会中の継続審査として付託された、平成23年度一般会計、特別会計、水道事業会計の決算認定議案と他1件を含む合計8件を、9月26日～10月4日に5日間開催し慎重に審査を行った。審査では、①予算執行の適合性②予算に対する収入・支出の妥当性③次年度以降の改善点等について

会派と委員会の変更

会派の変更

平成 24 年 11 月 1 日付けで、嶋田一孝議員、野本順一議員、矢部勝巳議員が新政クラブに加入しました。新政クラブの所属議員は、星野良行議員・大室尚議員・齊藤哲雄議員・新井金作議員・嶋田一孝議員・渡辺綱一議員・深山孝議員・小林守利議員・野本順一議員・矢部勝巳議員・岡田武雄議員・田中守議員（議席番号順）の 12 名となりました。

また、同日付けで上尾市民クラブが「自民党・市民クラブ」に会派名称を変更しました。所属議員は、小川明仁議員・鈴木茂議員・箕輪登議員・清水義憲議員・田中元三郎議員（議席番号順）で、代表は清水義憲議員になりました。

各委員会委員の変更

会派の変更に伴い、各委員会委員の構成について、一部変更がありましたので、改めてお知らせします。変更があった委員会は次のとおりです。

建設水道消防常任委員会

- ◎渡辺 綱一 ○池野 耕司
- 小川 明仁 野本 順一
- 田中 守 伊藤美佐子
- 糟谷 珠紀

福祉常任委員会

- ◎田中元三郎 ○秋山 もえ
- 星野 良行 齊藤 哲雄
- 新井 金作 深山 孝雄
- 町田 皇介 橋北 富雄

議会運営委員会

- ◎清水 義憲 ○町田 皇介
- 鈴木 茂 新井 金孝
- 嶋田 一孝 深山 文男
- 長沢 純 道下 守
- 秋山 もえ 田中

議会改革特別委員会

- ◎道下 文男 ○町田 皇介
- 星野 良行 大室 尚茂
- 齊藤 哲雄 井上 作え
- 小川 明仁 新井 金も
- 長沢 純 秋山
- 田中元三郎

※◎は委員長、○は副委員長。
※敬称略、議席番号順。

決算反対討論

要旨

平成 23 年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について、部落解放運動団体補助金など同和対策に

の 3 項目を中心に審査を行い、いずれも原案のとおり認定・可決した。

委員長からは「今後もさらに厳しい財政状況が続くと予想されるが、税収の確保に努めるとともに、限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化に努め、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりのため、引き続き最大限の努力を期待する」との意見・要望があった。

関する経費は、同和対策事業特別措置法が失効し、すでに 10 年が経過しているが、法的根拠のないこれらの事業が今も実施されているため、同和事業関連の速やかな廃止を求めて反対する。
レンタサイクル廃止に伴う施設解体工事費については、レンタサイクル事業が老朽化を理由に、利用者への声を聞かず一方的に廃止・解体されたが、自転車のみを實踐する上でもシンボリックな事業と成り得たので反対する。
東口再開発事業に関連する事業は、多額の税金を投入する必要性や事業の優先度において、検討が

曖昧なまま突き進んできたことについて反対する。
教育に関する 3 つの達成目標推進事業と学力向上支援事業は、市独自のテストで子どもたちを管理するより、保護者負担の軽減や学習困難児童・生徒への人的配置に振り向けるなど、教育現場の願いに沿った支出を望むので反対する。
小学校校舎大規模改造（耐震補強）事業、中学校校舎大規模改造（耐震補強）事業は、子どもの教育環境を整備することは大切であるが、トイレ改修工事費が高額で適正な金額ではない。この費用を学校図書の実用に使おうべきと考え

るので反対する。
国民健康保険特別会計歳入歳出決算について、平成 23 年度、平等割額が 5000 円引き上げられたため、各世帯負担増となった。市民は、収入が増えない中で、税金や公共料金の支払いに苦慮しており、平等割の値上げをして執行された国保の特別会計について反対する。
平成 23 年度上尾市水道事業会計決算の認定について、平成 23 年度上尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、未処分利益剰余金は、水道料金を下げるなど、市民に還元すべきと考えるので反対する。

平成 24 年 12 月定例会提出議案とその結果

◎閉会中の継続審査のもの (8 件)

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	市民ク	公明	友愛	共産	無党派
議案第49号	平成23年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	×	△
議案第50号	平成23年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	×	○
議案第51号	平成23年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○
議案第52号	平成23年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○
議案第53号	平成23年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○
議案第54号	平成23年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○
議案第55号	平成23年度上尾市水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	△
議案第56号	平成23年度上尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	△

◎市長提出議案 (21 件)

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	市民ク	公明	友愛	共産	無党派
議案第66号	平成24年度上尾市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	×	△
議案第67号	平成24年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第68号	平成24年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第69号	平成24年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第70号	平成24年度上尾市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第71号	上尾市暴力団排除条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第72号	上尾市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第73号	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第74号	上尾市工業住宅団地開発事業特別会計条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第75号	上尾市民体育館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	×	△
議案第76号	上尾市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第77号	上尾市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	△
議案第78号	上尾市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	△
議案第79号	上尾市融資審査委員会条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	×	△
議案第80号	損害賠償の額を定め、和解をすることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第81号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○
議案第82号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	×	×
議案第83号	埼玉県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第84号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第85号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○
諮問 第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき 旨答申	○	○	○	○	○	○

◎議員提出議案 (2 件)

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	市民ク	公明	友愛	共産	無党派
議案第21号議案	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第22号議案	2014年の消費税増税実施の中止を求める意見書	原案否決	×	×	×	×	○	○

◎委員会提出議案 (2 件)

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	市民ク	公明	友愛	共産	無党派
委第1号議案	上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
委第2号議案	上尾市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○

*新政=新政クラブ (12 人)、市民ク=自民党・市民クラブ (5 人)、公明=公明党上尾市議団 (5 人)、友愛=友愛クラブ (3 人)、共産=日本共産党上尾市議会議員団 (3 人)、無党派 (2 人)

市政に対する
一般質問

ここが問題
そこが
聞きたい

Q&A

12月定例会の一般質問は、12月11・12・13・14日の4日間行われ、17人の議員が登壇し、市政全般44項目にわたって市当局の見解を求めました。
また、4日間で155人の皆さんが議会を傍聴しました。
一般質問の主な内容は次のとおりです(各議員の一般質問の中から1項目のみを掲載しました)。

◆行財政一般



公明党上尾市議団
道下 文男

照明灯のLED化をリース
方式で推進を

問 市有施設では、節電対策により上半期で11・8パーセント削減し、2400万円の節電効果を得たが、電気料金の値上げにより12月定例会で6077万円の補正予算が計上された。千葉県茂原市では、電力・経費の削減を行うため10年間のリース方式で20ワットの蛍光灯7450灯を一気にLED化し、取手市では、9700本の防犯灯をリース方式とした。本市でも道路照明灯や公共施設照明灯のリース方式による省エネ対策を提案するが、市の見解を伺いたい。

答 照明灯のLED化は、軽易な工事導入でき、電気消費量が蛍光灯の約半分であるため、有効な節電対策の一つと認識している。しかし、LEDへの交換費用は、工事費を含め1本当たり約1万5000円と高値であるため、LED化への促進ができない状況である。リース方式によるLED化の一括導入は、初期費用を軽減し、節電効果が得られる反面、契約期間が長くなるため、LEDの技術革新や量産による価格低下の恩恵を受けられない不利な点もある。今後、リース方式や民間提案方式について、節電の取り組みと効果、設置・管理費用との比較、技術革新の状況や価格低下の傾向など総合的に判断し検討していきたい。

・ **その他の質問**
・ 幸齢社会に向けて
・ 障がい福祉施策について



公明党上尾市議団
前島 るり

配偶者暴力相談支援センター事業の実施を

問 DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）に基づき、各都道府県に配偶者暴力相談支援センターが設置されている。内閣府男女共同参画局配偶者暴力相談支援センターにおける配偶者からの暴力に関する相談についての資料によると、2008年現在、施設は全国に180カ所あり、DV関連相談件数も2007年度で6万件以上となっている。

配偶者暴力相談支援センターは、高い専門性を持つ女性相談窓口として大きな役割を果たすものと考えているが、この事業の実施について、市の見解を伺いたい。

答 平成13年に制定されたDV防止法で、市町村は配偶者暴力相談支援センターとしての機能を果たすよう努めるものとしており、県内では、5市が配偶者暴力相談支援センター事業を実施している。本市では、平成23年度に「第2次デュエットプラン21」と併せ、D

今議会で決まった人事

人権擁護委員に

まえしま ゆりこ
前島 百合子 氏

人権擁護委員 前島百合子氏の任期は、平成25年3月31日で満了となるため、同氏を再び推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。



新政クラブ
星野 良行

(仮)原市複合施設の概要は

問 平成10年に構想が始まった(仮)原市複合施設は、昨年9月に示された平成25年度版行財政3か年実施計画及び平成25年度予算

編成における基本方針の中で、平成 28 年度の開所を目指し整備が進められることが示された。多世代が利用可能な新たな原市地域の拠点となるようであるが、本事業の概要、工程および地元からの要望について伺いたい。

答 本施設の建設候補地は、原市団地北側道路に面し、白樺住宅団地に隣接した面積 3375㎡の敷地で、所有者から買収について大筋で同意をいただいている。本施設は、原市保育所と原市団地保育所を移転・統合し、ゼロ歳児保育も行う定員 120 名規模の保育所と、原市支所を移転し、併設する複合施設となる。事業の工程は、平成 25 年度に基本設計を行い、平成 26 年度はそれに基づき、実施設計および各種許可申請を行う。平成 27 年度に建設工事に着手し、平成 28 年度の施設開所を目的に本事業を進めていく。地元からの要望については、基本設計に入る段階で保育所の保護者、地元区長、近隣住民に施設の要望を伺う機会を設け、その後、進ちょくに合わせて説明会を開催したいと考えている。

その他の質問

・(仮)西上尾ショッピングセンター

ー開店に伴う影響について
・第二産業道路の整備状況



友愛クラブ
浦和 三郎

市民の木「あおき」の趣旨は

問 市には、市の木「かし」、市の花「つつじ」の他に、市民の木「あおき」がある。上尾市青少年健全育成推進大会で社会貢献に顕著な功績があった青少年を表彰する「あおき褒賞」は、この「あおき」からとっていると聞かすが、市民の木「あおき」が制定されたのはいつか、また目的と趣旨について伺いたい。

答 市は、市制施行 20 周年を記念して、緑化思想を普及し、緑豊かなまちづくりに資するため、市の木「かし」、市の花「つつじ」、市民の木「あおき」を昭和 53 年 7 月 15 日に制定した。当時、市の木として決定した檜は巨木となり、どこにでも植えるということができないため、身近な緑として馴染み深く、家庭の庭先でもよく目にする青木を市民の木として決定した。

青少年健全育成推進大会で健全

な地域活動の功績を称える褒賞に「あおき」の名を冠しているほか、公共下水道のマンホールのふたにも市民の木「あおき」をデザインしているものもある。

その他の質問

・安心安全の確保・教育行政
・スポーツ宣言都市



市民の木「あおき」がデザインされたマンホールのふた



友愛クラブ
池野 耕司

放課後児童クラブの児童数
と今後の課題は

問 核家族の進展により、保護者が、仕事や病気、介護で昼間保育ができない場合に、放課後児童クラブ(学童保育所)の生活は、学

齢期の子供たちにとって家庭に代わる安心・安全な生活の場である。そこで、上尾市の放課後児童クラブについて、類似近隣市町村と比較した施設数、入室児童数、待機児童数と今後の課題を伺いたい。

答 県内で人口が同規模である自治体の学童保育所の施設数と入室児童数の状況は、上尾市が 29カ所、1452人、草加市が 21カ所、1480人、春日部市が 30カ所、1354人、熊谷市が 34カ所、1331人である(平成 24 年 5 月 1 日現在)。入室については原則として小学校 3 年生までとしている市が多い中、上尾市では小学校 6 年生までの児童を受け入れている。また待機児童については、草加市で 17 人、熊谷市で 31 人となっているが、上尾市では平成 19 年度以降、学童保育所を積極的に整備、開設し、待機児童の解消を実現している。

今後は、学童保育所への通所の安全性の確保、大規模学童保育所の解消、施設の老朽化への対応、借地利用による学童保育所の学校敷地内への移転など、さまざまな課題について取り組んでいく。

その他の質問

・市内建築物の耐震の現状と計画

について

・少年非行と街頭補導について



日本共産党

上尾市議会議員団

秋山 もえ

一学区区に一学童保育所の設置を

問 共働き家庭やひとり親家庭が増える中、小学生の放課後の生活と安心を保障する学童保育所の役割は大きい。待機児童を出さないために努力する市の姿勢は評価できるが、児童数が70名を超える大規模学童保育所が2カ所あり、一学区区に一学童保育所の設置がないところも2カ所ある。また保育料は、県内で比較すると上位にあり、減免措置の充実が求められている。市では、大規模学童保育所の解消と一学区区に一学童保育所の設置実現に向けてどのような計画を進めていくのか伺いたい。

答 市では、待機児童を出さないように、入所を希望する児童を極力受け入れているため、結果として大規模学童保育所が生じている。保育料については、各市にさまざまな減免制度があり、一概に比較できない状況にあると考えている。しかし大規模学童保育所の解消は

課題の一つであり、市はNPO法人と連携を密にして情報収集などその解決に向けて関与していく。また一学区区に一学童保育所の設置については、行財政3か年実施計画の中で具体的に検討していく。



市内学童保育所の様子



無党派

秋山 かほる

来年度予算編成における基本方針は

問 「平成25年度版行財政3か年実施計画及び平成25年度予算編成における基本方針」について、市民生活および企業の動向の変化を踏まえ、今後の市の施策を考えるべきと思うが、上尾市はどのよう

なまちを目指し、どのような予算に重点配分するのか伺いたい。

答 高齢化の進展による社会保障関連経費の増加、老朽化した施設やインフラなどの資産更新費用の捻出など、厳しい財政状況が予想される中、税収を確保するため、生産年齢人口を増加させる、あるいは減少させない取り組みが必要と考える。

平成24年度は防災対策や省エネ対策を強化するとともに、子育て・健康づくり支援、教育環境整備、まちづくり施策のさらなる充実を図ったところであり、平成25年度も引き続き市民ニーズや社会ニーズを踏まえ、限られた財源を効果的、効率的に配分することにより、総合的にバランスのとれた魅力あるまちづくりを行っていく。

その他の質問

・高れい者福祉サービスについて
・上尾市の放射線対策について



新政クラブ

嶋田 一孝

広域行政の理念と懸案事項は

問 上尾市は、首都圏として公共交通機関の発達や道路網の整備に

より、通勤通学、買い物も含めた流通、経済が市域を越えている状況にある。ますます多様化する市民ニーズに 대응するため、一つの自治体では解決困難な課題に対し、近隣市町との連携のもと、市民の安心・安全を確保し、行政サービスの向上を図らなければならない。そこで、広域行政の理念と市の見解、また近隣市町における懸案事項と解決策について伺いたい。

答 市民の生活圏は、市域を越えて広域化しており、市民の利便性の向上や行政運営の効率化のために、近隣市町が協力し、市域を越えてサービスの提供などを進めていく必要があると考えている。現在、県央地域4市1町で構成しているまちづくり協議会では、公共施設の相互利用や広報の相互掲載の可能性などについて検討を行っている。また川越市、川島町とは、県道川越上尾線整備促進期成同盟会の中で、渋滞解消に向けた交差点の早期整備について要望活動を行っており、さいたま市とは、個別の課題に応じた協議を行っている。伊奈町とは、上尾・伊奈広域行政協議会で、消防救急無線のデジタル化やごみ処理施設の広域化などについて、協議を進めていき

たい。
 〓その他の質問〓

- ・平成25年度当初予算編成について
- ・文化財について
- ・たちばな荘について

◆都市整備



日本共産党
 上尾市議会議員団
 糟谷 珠紀

実態に即した水道料金体系に

問 市の水道料金は、2カ月ごとに検針が行われており、基本水量は2カ月で20㎡、基本料金は、口径20mmの場合で2420円である。しかし、2カ月で20㎡を使用していない世帯が全体の28%も占めており、使ってもいない水道料金が徴収されているという不公平が放置されたままになっている。節水の努力をしている人が報われるよう料金体系を見直し、適正な水道料金を設定して、不公平を是正していくことが必要と考えるが、市の見解を伺いたい。

答 現在の水道部、下水道課については、平成26年度に、機構改革で一つにしたいと考えている。そのような中、水道基本水量について、

議会報編集委員会行政視察報告

議会報編集委員会では、平成24年11月8日～9日に行政視察を実施し、愛知県豊田市および犬山市における議会広報について研修してきました。豊田市では、編集作業を業者に委託し、発行までの期間を短縮させ、情報を早く伝えることを強く意識した広報誌であり、市内の子どもたちへの広報活動も積極的に行っていました。犬山市では、ユーストリームを利用して、本会議のほか常任委員会や全員協議会の映像も配信しており、その手法と合わせて議会改革における議会広報の在り方についても伺うことができました。両市ともに、参考になるものが多くあり、有意義な視察を行うことができました。

視察項目

- 【豊田市】**
- ・議会報改革としての取組みについて
 - ・議会広報誌の誌面構成について
 - ・業者への編集委託について
- 【犬山市】**
- ・議会改革の中での議会広報誌の改善点について
 - ・議会ホームページとUstreamによる映像配信について
 - ・議会広報誌の編集について

【参加議員】

鈴木 茂 浦和三郎 小川明仁 星野良行
 大室 尚 前島るり 斉藤哲雄 秋山もえ



犬山市議会での視察の様子

◆教育



無党派
 井上 茂

通級指導教室整備の見通しは

問 特別支援が必要な子どもたちに対する施設整備の面で、上尾市は遅れていることから、計画的に

て、使用量が20㎡以下の世帯も多数いることから全体的に見直し、上水道委員会にかけ、料金体系を見直す必要があると考えている。

整備を進めていくよう要望をしてきた。通級指導教室の見直しと特別支援教育の計画における県との協議状況、今後の計画について伺いたい。

答 市では、特別支援教育の充実と今後の方向性を定めるために、本年度、外部の有識者を交えた検討委員会を設置し、現状と課題、今後の方針、実施計画から構成する「上尾市特別支援教育基本方針」を策定した。特別支援学級や通級指導教室の新設については、今後、入級を希望する児童・生徒数や通学上の安全などを鑑み、計画的に

進めていきたいと考えている。また県との協議については、平成24年10月に、市の特別支援教育の現状と課題、今後の整備計画、教員の配置の要望等について、基本方針を基に説明し、協議を行った。今後の計画については、特別支援学級や通級指導教室の対象となる児童・生徒の見込み数の予測を的確に行い、関係部署と十分な連携を図りつつ推進していきたい。

〓その他の質問〓

- ・芝川の浸水対策とルネッサンス
- ・地域主権一括法による条例委任
- と埼玉県知事からの権限移譲



自民党・

市民クラブ

鈴木 茂

アップピースマイルサポーターの増員を

問 市内小中学校の普通学級に通う障害のある児童・生徒数は、235人であるとのことだが、子どもたちの状況に応じて担任の補助をするアップピースマイルサポーターは、69人しか配置されていない。常に支援を必要とする児童・生徒に対しては、各学校の全職員で対応しているとのことであるが、アップピースマイルサポーターの配置要望人数と配置状況について伺いたい。

答 特別支援教育支援員と学級支援員の配置に係る申請では、支援を要する児童・生徒数が235人であった。しかし、この中には、学級担任や学年職員などで対応できるものもあるため、市では、それらの状況を把握し、総合的に判断して支援員を配置している。昨年度、支援員は47人であったが、今年度は69人のアップピースマイルサポーターを配置した（平成24年12月現在）。また子どもたちにより効果的な支援ができるよう、

アップピースマイルサポーターの資質向上に向け、教育センターによる研修の充実を図っている。なお来年度の配置人数については、児童・生徒および学校の状況を踏まえ検討していきたい。

その他の質問

・行政改革について
・老朽化保育所の民間（定員）移譲について

◆環境・産業



公明党上尾市議団

長沢 純

スーパー出店後の住民意見の受け皿は

問 大規模小売店舗は、多くの人が利用することから、車での来店による交通渋滞や、店舗からの騒音の発生などが心配される。そのため、店舗面積が1000㎡を超える店舗を対象に、周辺住民の生活環境を配慮することを設置者に求めることを目的とした大規模小売店舗立地法が施行された。

平成24年11月にさいたま市見沼区にオープンしたスーパーは、上尾市に隣接し多くの上尾市民が利用しており、市民に安全面、防犯

面、交通対策面で大きく影響することが考えられるが、出店後の住民意見の受け皿について伺いたい。

答 大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針には、開店後においても、設置者は、周辺地域の生活環境に与える影響について十分な注意を払うことが必要であると示されている。特に、届出時における対応策の前提として調査、予測の結果と大きく乖離（かいり）があり、対応が著しく不十分であった場合には、それに応じ追加的な対応策を講ずるよう努めることになっている。

市としても、寄せられた意見については、設置者に誠意ある対応を求めていきたい。

その他の質問

・義務付け・枠付けの見直しと条例制定権の拡大について
・環境にやさしい街づくり



新政クラブ

新井 金作

西上尾ショッピングモールの渋滞対策は

問 平成25年初夏のオープンを目指して、約11万㎡の敷地に西上尾



建設中の西上尾ショッピングモール（仮）西上尾ショッピングセンター

ショッピングモールの建設工事が着々と進んでいるが、平成24年3月の地元説明会では、周辺道路の渋滞を心配する声が上がっていた。そこで、市の周辺道路における渋滞対策と警察との協議について伺いたい。

答 渋滞対策については、事業者が、国の指針などに基づき交通量調査などを実施し、検証を行っている。検証の内容は、来客のピーク時を想定した必要駐車台数、交差点の影響評価、駐車場出入口の処理能力の検討、駐車待ちスペースの確保などで、いずれも基準に適合している。そのほか市では、県の要綱に基づき、出店者、埼玉県警察本部、上尾警察署ほか関係部署と交通協議を実施し、渋

滞緩和や安全面への配慮のため、交通整理員の配置や案内看板の設置などの指導、要望を行っている。また出店者に対し、オープン後の安全面について指導を行い、必要に応じ警察など関係機関との協議も考えている。

その他の質問

- ・上尾道路の進ちよく状況
- ・WHOが推進している「セーフコミュニティ」の認証取得



新政クラブ

深山 孝

周辺自治体における公設墓地の設置状況は

問 東京都では、墓地に対する都民ニーズの多様化に因えるため、既存の都立霊園を活用しながら、樹林墓地の整備を行っている。将来的なニーズを含めて、公設墓地の調査・研究が必要と考えるが、周辺自治体における樹木葬を含めた墓地の現状と、公設墓地の設置について伺いたい。

答 樹木葬は、里山の林の中に、ヤマツツジなどの低木を墓標として植栽し、その根本に遺骨を直接埋蔵する形式である。核家族化や少子化が進む中、代々の墓を継承

できない、墓を継承する子孫はいるが迷惑をかけたくないという考えから、継承を必要としない墓として、従来の墓より価格が安い樹林墓地に関心が高まっている。

県内の公設霊園の設置状況は、さいたま市で6カ所、秩父市、蕨市、川口市、志木市、新座市、小鹿野町にそれぞれ1カ所となっており、樹木葬については、各市ともに検討段階まで至らない状況である。市における公設霊園設置については、広域性、市民ニーズ、土地、財政、運営費用など、総合的な見地から調査・研究していきたい。

◆福祉



公明党上尾市議員
伊藤 美佐子

シニア世代のためにガイドブックの作成を

問 今まで社会の第一線で活躍してきた人が戻り、地域社会は、まさに人材という資源であふれている。このようなシニア世代の人たちは、介護保険制度、年金制度などさまざまなサービスを受ける世代であると同時に、地域社会に貢

献したいというサービスの担い手でもある。

シニア世代の力を地域力として發揮していただくために、市民参加を求めている審議会や各種ボランティアなどの情報を一元化し、1冊にまとめたガイドブックの作成を提案するが、市の見解を伺いたい。

答 4人に1人が高齢者という時代となり、地域においても、シニア世代の知識や経験、技術を生かして活躍していただくことは重要である。現在、市政に関する情報は広報課、ボランティア情報は社会福祉協議会、学習サークル関係の情報は教育委員会など、それぞれの部署から発信されている。それらをもとめたシニア世代のためのガイドブックは、地域貢献、社会貢献活動に役立つものと認識している。シニア世代にとって、分かりやすい情報をどのように提供するかにについては、第6期上尾市高齢者福祉計画の策定においても重要な課題と考えており、関係機関と協議を重ね、研究していきたい。

その他の質問

- ・子育て環境の整備
- ・行政資産の職員の育成



日本共産党
上尾市議会議員団
平田 通子

配食サービスの廃止と敬老祝い金の縮小の理由は

問 社会福祉協議会に委託している配食サービスは、協力員が声をかけ温かい食事を届けることで、高齢者の孤立を防ぎ見守りとしての役割を果たしてきた。また敬老祝い金は、民生委員が届けることで、安否確認や健康・生活の相談にのるなど地域の安心をつくってきた。しかし、「平成25年度版行財政3か年実施計画及び平成25年度予算編成における基本方針」で、配食サービス事業の廃止と敬老祝い金事業の縮小が計画されている。これらの事業について、廃止や縮小する理由と今後の地域の見守り体制について伺いたい。

答 配食サービスは、利用者の減少、ニーズが多様なことから、高齢者等配食サービス事業ガイドラインの基準を満たした民間事業者と直接契約する制度になる。敬老祝い金は、超高齢社会になり金額が増加することや市税が減少することから縮小するが、他の有効な

事業を展開することを考えている。今後の見守り体制については、社会福祉協議会と連携して地域の見守りネットワークを協働で取り組んでいきたい。

〜その他の質問〜

- ・瓦葺ふれあい広場近隣の整備と活用を



友愛クラブ

町田 皇介

拉致被害者救済のため常時署名できる場所の確保を

問 平成24年は北朝鮮が拉致を認めてから10年目の節目の年であり、全国では、全ての拉致被害者を救出するため1000万筆署名運動が展開されている。

市でも、拉致に対する講演会やパネル展の開催時において、署名に協力しているが、上尾市は北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表の飯塚繁雄氏が居住している自治体でもあるため、市としてもう一步、積極的に署名活動の協力をすべきと考える。そこで、市内の公共施設に常時署名できる場所を確保できないか伺いたい。

答 1000万筆署名については、拉致に対する講演会が開催された



飯塚繁雄氏による拉致に対する講演会

公民館や北朝鮮人権侵害問題啓発週間でのパネル展示会場で、多くの参加者から署名の協力をいただいた。今後は、市職員にも協力を求めていく予定である。

常時署名できる場所の確保については、市役所2階の社会福祉課の窓口場所に場所を確保したいと考えている。しかし公民館をはじめとした市内公共施設については、署名用紙に住所、氏名を記載することになっていないことから、適正な個人情報管理ができるかという課題や問題があるため、それらを解決し実現できるかを、今後、関係各課と協議、検討していきたい。

〜その他の質問〜

- ・地域包括ケアシステムについて

議会映像をご覧いただけます

上尾市議会のホームページ <http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>



上尾市議会のホームページで、開催中の定例会、臨時会のライブ中継や、平成20年以降の定例会、臨時会の録画映像をご覧いただくことができます。

議会のライブ中継や過去の議録画映像を見る場合は、上尾市議会トップページのここをクリック！

現在開催している本会議のライブ中継を見る場合は、ここをクリック！次の画面で **Vod** をクリック。

平成24年以降の録画映像を見る場合は、ここをクリック！次の画面で開催年、月を選択し、日程表の項目をクリック。さらに次の画面で **Vod** をクリック。

平成20年～23年の録画映像を見る場合は、ここをクリック！



ライブ中継を見る

録画中継を見る (平成24年～)

過去の映像を見る (平成20年～23年)

上尾市会議録 録画システムへ

ライブ中継の視聴環境について

- 接続環境は、Windows2000/Me/XPに、Mac OS Xにのみ対応。ブラウザはInternet Explorer5以上、Safari1以上が必要です。また、音楽によっては再生されない場合があります。
- ウェブサイトの閲覧は、1024×768推奨です。
- ウェブサイトの閲覧は、「中」を推奨します。※インターネット接続環境が安定していることが望ましいです。
- インターネット接続環境が安定していることが望ましいです。また、インターネット接続環境が安定していることが望ましいです。
- インターネット接続環境が安定していることが望ましいです。また、インターネット接続環境が安定していることが望ましいです。

お問い合わせ先

上尾市議会事務局
〒302-0801 埼玉県上尾市本町三丁目1番1号
TEL: 048-739-8601(庶務課)
FAX: 048-739-8602(議事課)



3月定例会日程(案)

2月 25日 開会
 3月 1日 質疑、委員会付託
 4・5日 委員会
 (総務、建設水道消防)
 6・7日 委員会
 (文教経済、福祉)
 11~14日,18日
 一般質問
 21日 閉会

委員会活動

H24.10.16→H25.1.15



▲富士見小オープン教室の現地調査
 (文教経済常任委員会)



▲総務常任委員会の様子

***次回の3月定例会は、2月25日に開会の予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、2月19日(火)までとなります。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

上尾市議会HPアドレス
<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

議会報編集委員会

委員長 鈴木 茂
 副委員長 浦和 三郎
 委員 星野 良行
 委員 大室 尚
 委員 斉藤 哲雄
 委員 小川 明仁
 委員 前島 るり
 委員 秋山 もえ

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	10/19 12/6 12/6	・所管事務調査「第7次行政改革の進捗状況について」 ・12月定例会提出議案5件を審査 ・所管事務調査「第7次行政改革の進捗状況について」
文教経済常任委員会	10/19 11/13 11/13 12/7 12/7	・所管事務調査「教育の現状と問題について」 ・行政視察(富士見小学校、西中学校) ・所管事務調査「産業振興ビジョン策定の進捗状況について」 ・12月定例会提出議案5件を審査 ・所管事務調査「産業振興ビジョン策定、教育の現状と問題について調査事項のまとめ」
建設水道消防常任委員会	10/31 12/6 12/6	・所管事務調査「自転車のまちづくりの推進について」 ・12月定例会提出議案6件を審査 ・所管事務調査「自転車のまちづくりの推進について」
福祉常任委員会	10/18 12/7 12/7	・所管事務調査「防災対策について」 ・12月定例会提出議案7件を審査 ・所管事務調査「防災対策について」
議会運営委員会	随時	・議会運営について協議(協議回数6回)
議会改革特別委員会	10/19 11/1 11/20	・議会基本条例について ・議会基本条例について ・議会基本条例について
議会報編集委員会	10/16 11/8~9 12/13	・「あげお議会だよりNo.161」の内容について協議 ・行政視察(豊田市、犬山市) ・「あげお議会だよりNo.162」の内容について協議

意見書1件を原案可決

12月定例会最終日の12月20日、議員提出議案として意見書2件を提出し、1件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、外務大臣、総務大臣、拉致問題担当大臣、衆議院議長、参議院議長

おわびと訂正:「あげお議会だより」11月号16ページ、委員会活動の写真(左)の説明について誤りがありましたのでおわびして訂正します(誤 福祉常任特別委員会の様子→正 福祉常任委員会の様子)。

「議会だより」は再生紙を使用しています